

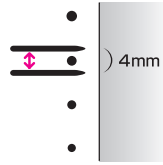
注意点1



豪快さと繊細さを両立させた
マシンガン・ピッキング

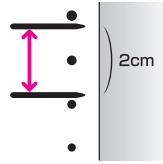
このメイン・フレーズでは、音圧感を出すことがポイントになる。一般的な速弾きに適した右手をコンパクトに振るピッキングでは音圧感が出しにくいので(図1-a)、ピックを両隣弦の間隔である約2cm幅のギリギリまで振る“マシンガン・ピッキング”で演奏しよう(図1-b)。右手が2cmの間隔を正確に行き来してほしい。

図1-a 一般的な高速ピッキング



無駄が少ないコンパクトな振りだが、音圧感が出せない。

図1-b マシンガン・ピッキング



ピッキングの振りが大きいので音に厚みが出せる。ただし、ピッキング・コントロールが難しい。

注意点2



人差指と一緒に
中指&小指も動かすべし!

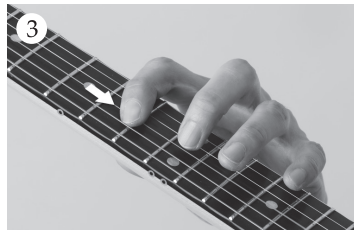
メイン・フレーズ3小節目2拍目では、人差指を瞬時に移動させて、ポジションを的確に変えることがポイントになる(写真①~④)。また、人差指と一緒に中指と小指も広げた状態で移動させることによって、音を滑らかに繋げていくことができるだろう。“人差指・中指・小指”を1セットにしてフィンガリングするようにしてほしい。



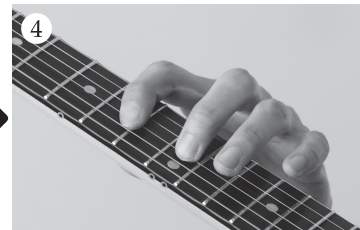
3小節目2拍目。まず中指で4弦10fを押さえる。



小指の押弦と同時に、人差指の移動の準備をしよう。



人差指が9fから10fに移動する。中指は12f上に待機。



中指で12fを押さえる。小指は14f付近で待機させよう。

~コラム13~

地獄の戯れ言

マシンガン・ピッキングで上昇するフレーズでは、高音弦と低音弦でブリッジ・ミュートの力加減を変えることがポイントになる。低音弦ではブリッジ・ミュートをしっかり掛けながら、3弦に向かって徐々にミュートを緩めていき、1&2弦はノン・ミュートで弾こう(図2)。こうすることによって、ダイナミクスのあるソロに仕上げられるのだ。

ミュートの加減をコントロールせよ!
抑揚のあるマシンガン・ソロの弾き方

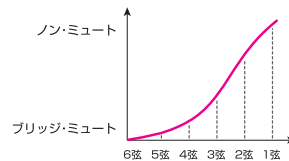
図2 マシンガン・ピッキングのためのブリッジ・ミュート

ミュートの力加減のイメージ図



1弦に向かうにつれて、ミュートの力加減を弱めていく。

ミュートの力加減のグラフ



【音圧感を出す】大きな音量とともに、フレーズに勢いも必要になる。まさにマシンガンのように轟音を鳴らして、聴き手に圧倒的なインパクトを残すことを目指したい。